

図書館報

Library Bulletin
No.36

第36号



ページ案内

巻頭言 大切なものは目に見えない

校長 廣澤 秀伸 P 2

委員会活動報告 P 3

【特集】

ぼくらの心に刺さったひと言 P 4

今年度映像化された作品 P 5

統計 等 P 6

巻頭言

大切なものは目に見えない

校長 廣澤 秀伸



高校生の時、「この本のフラン

ス語原語版を読んでごらん。美しい言葉というものがどういふものかが、きつと分かるようになるから」と当時懂れていた音楽家から勧められた。それがサンIIテグジュペリの『星の王子さま』だった。しかし当時フランス語版など手に入れることはできず、仮に手に入れられたとしても、知ってるフランス語は「ボンジュール」「メルシー」ぐらいなものだから、原語版は端から諦め日本語版の内藤濯訳版を手に入れた。タイトルは有名だから知ってはいたが、今まで一度も目を通したことはなかった。物語は王子さまがバラのつまらぬ言い合いから小さな星を去ることになり、その道中で様々なおかしな人たちと出会い、最終的に地球に降り立ち、不時着した飛行士にそれまでの経緯を語るといふ物語だった。

しかし、何度読み返しても本書

の「美しい言葉」というものが理解できない。むしろ、そもそも他の星から王子さまがどうやって地球にやってきて、どうやって自分の故郷の星に帰ったのか？まるでウルトラマンの世界のように思えてしまい、この本の何が面白いんだ？と、いつしかこの本のことはずっかり忘れていた。

しかし、大学に入り外国語の選択をする時に「仏語」の講座の文字を目にした時、突然この本のこと脳裏に蘇ってきた。今を逃せば二度とチャンスはないと想い、迷わずフランス語を選択した。あくまで『星の王子さま』を原語で読んで、「美しい言葉」を味わいたいという単純な動機だったが。そして授業が始まるとこれが予想以上に難しく、男性名詞・女性名詞、リエゾン、語尾変化、等々、毎時間文法中心の授業に付いてい

けずりタイア。しかし、この挫折

が契機となり、原語版は諦め、日本語版をより深く読み込むために児童文化研究会に入った。児童文学の読書会で作品の解釈、作者の想い、表現の面白い方などを一通り勉強させてもらい、改めて『星の王子さま』に目を通すと、今まで全く響かなかった言葉が自分の中に染みこんできた。特に直前にシルヴァスタインの絵本『大きな木』の読書会があり、「愛とは与えること」という主題への白熱した議論が、幼かった自分の思考を大いに深めてくれたこともあり、次第に『星の王子さま』の本質が見えるようになった。

『星の王子さま』は故郷の星に帰ったことになっているが、客観的には遺体無き自殺とも言える。しかし、王子さまは故郷の星に帰るためには、毒ヘビによって心と体を交換してもらおうしか術はな

かったのだ。

「分かっているだろ。僕の星はとても遠いんだ。こんな体持つて行けないよ。重すぎるもの。」でもそれは脱ぎ捨てた古いぬけがらみたいなものさ。古いぬけがらなら、悲しくなんてないだろ……

「わかるだろ……僕は、僕の花に責任がある。花はあんなに弱いんだもの！それに何も知らないんだ。身を守る術といたら、四本の棘しかないのだから……」
「そういふことさ……それだけさ……」

「子どもたちには、い・ち・ば・ん・た・い・せ・つ・な・も・の」「本・質・的・な・も・の」
「は・目・に・見・え・な・い・も・の・だ・と・い・う・こ・と・が・分・か・つ・て・い・る」
L'essentiel est invisible pour les yeux.

『星の王子さま』

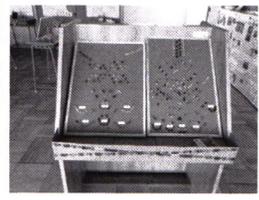
サンIIテグジュペリ

平凡社ライブラリー刊

平成三十年度 委員会活動報告アルバム

文化祭

準備は大変だったけれど
楽しんでいただけて嬉しかったです。



前橋地区図書委員会交流会



前橋東高校にて
ビブリオバトルに参加

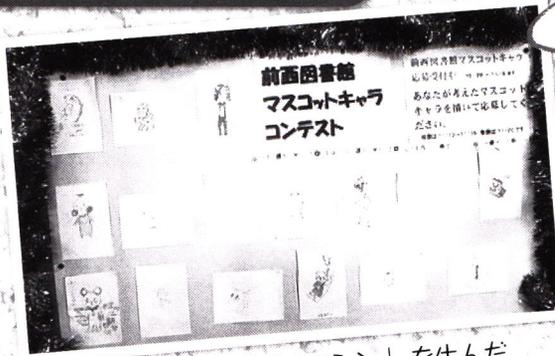
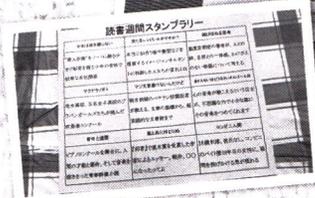
夏休み推薦図書



心に残った二文を
先生方に紹介していただき、
ポスターにしました。

読書週間

ヒントを頼りに
校内スタンプ
ラリー



大人気キャラ「マエニジシ」を生んだ
コンテストは粒ぞろいでした!

ほくが
マエニジシ



雑誌のバックナンバー&ふろくの
抽選会には大勢の参加者が!



写真部・書道部・美術部の
作品展も開催しました。



手書きの新作図書
紹介ポスターを
校内各所に掲示

ぼくらの心に刺さったひと言

図書委員の心を射抜いた
セリフや本を紹介。

彼らをただの敵と見るのか、それとも技を吸収すべき師と見るのか。君たちが弱いということは伸びしろがあるという事

勉強をしないと頭の良い人間に良いように使われてしまう」という意味です。この作品は、全然勉強のできない高校にやってきた教師が、特別進学クラスを設立して東大合格者を出すことを目標に生徒達と一緒に勉強を頑張るというあらすじです。

受験について書いてあるので、受験生には特に人気の作品ですが、就職に進む方にもぜひ読んでもらいたいと思います。

『ドラゴン桜』

モーニングKC 三田紀房／著

今まで無理やったら、これからも無理や。変えるならそれは「今」や。「今」何か一歩踏み出さんと。自分それ、やらんまま死んでいくで

負けるって言ったのは
だまされるって意味だ!
お前ら一生だまされるぞ!

これは『ドラゴン桜』の先生が教師紹介の時に、全校生徒にむかって、東大を目指す人を集めるために言った言葉です。「法律は頭の良い人間によって都合のよいように作られているから、

できます。作中でガネーシャは様々な課題を主人公に出します。靴を磨く、お釣りを募金する・・・などなど。一見成功とは直接関係しそうにないですが、読み進めていけば理解できる内容になっています。

テレビドラマ化もされているのでもしかしたら聞いたことのある方もいるかもしれませんが、気になった方はぜひ手にとってみてください。

『夢をかなえるゾウ』

飛鳥新社 水野敬也／著

人道的な殺人てなんだよ(笑)

主人公のバカ話の中の一言。セリフがセリフだけに頭から離れません。

この作品は、核でも壊せない巨大兵器(人型ではない)を用いた戦争を描いたものです。主人公は、戦場に最先端技術を学びに来た学生で、兵器の操縦はできません。生身の主人公が仲間達と協力して五〇m級のロボバトルの勝敗を左右する様は痛快です(主人公、裏方ですね)。

主人公は相棒といつでもどこでもバカ話をし、ギャグ要素過多でシリアス

なシーンはほぼありません。人によっては戦争のシーンよりも主人公達の会話のほうが面白いと感じる人もいると思います。

主人公がどう活躍するのか。興味を持った方はぜひ読んでみてください。

『ヘヴィーオブジェクト』

電撃文庫 鎌池和馬／著

もうここへ戻ってきてはダメ
一度出た仮宿に帰ってきては
いけないわ

一見そっけないセリフにも見えますが、個人的にはとても思い入れのあるセリフなのでこの場面を選びました。と言ってもこのマンガは切ないマンガではなく、むしろ新感覚のラブコメディで面白いです。

高校に進学することを機に「河合荘」に下宿することになった宇佐君。そこには学校で一目惚れした先輩を含む、何かと「可愛想」な住人達が住んでいた。高校生になったら変わると決めていた宇佐君はまた「変シヨリ(変人処理)君」に戻ってしまうのでしょうか。残念系一つ屋根の下ラブコメディ。女子のみならず男子にもオススメなので、是非読んでいただけたら嬉しいです。

『僕らはみんな河合荘』

YKコミックス 宮原るり／著



君の臍臓をたべたい

この本は、臍臓の病気を抱えて死ぬことがわかってきている女子高生と、そのことを知ってしまった男子高生が、彼女が死ぬまでにやりたいことを一緒にやり遂げていく物語です。

私はこの小説を読み映画を観てとても感動しました。初めはタイトルの意味も分かりませんが、読みすすめるうちに涙が止まらなくなりました。この物語のラストは予想外のもので、私はとても驚きました。

この作品は小説と映画で異なることがあります。映画では小説では描かれていない、その後の未来が描かれているのです。小説しか読んでいない人にも映画しか観ていない人にも両方おすすめです。(アニメ映画もあります)

実写映画…浜辺美波／主演 東宝
アニメ映画…高杉真宙／主演
アニメブックス
書籍…住野よる／著 双葉社



スマホを落としただけなのに

この作品は、主人公麻美の彼氏である富田がスマホを落としたことから始まります。麻美はそのことを知らず、富田に電話をかけます。その電話に出たのは、聞き覚えのない声の男でした。落ちていたスマホを拾ったという男は、

「指定のカフェに預けておくから取りに行ってください」と、麻美に提案します。麻美は何の疑いもなく、カフェに富田のスマホを取りに行きます。無事スマホを取り戻した麻美ですが、その日から次々と不可解な出来事が起こり始めるのです。

日常生活にはスマホが欠かせない社会になっていくからこそ、この作品の恐ろしさが伝わると思います。

映画…北川景子／主演 東宝
書籍…志駕晃／著 宝島社



ドロ刑

この本は、二〇一八年の冬に日本テレビでドラマ化されました。新米刑事と稀代の大泥棒がタッグを組みあらゆる難事件を解決していくというストーリーです。

新米刑事こと斑目役に中島健人さん、稀代の大泥棒こと煙烏役を遠藤憲一さんが演じました。

本とドラマでは多少違うところがありました。本には本の良さが、ドラマにはドラマの良さがあり、どちらもとても面白い物語なので、どちらも楽しんで見ていただけると嬉しいです。



人魚の眠る家

書籍…福田秀／著
ヤングジャンプコミックス

娘の小学校受験が終わったら離婚する。そう約束した飯面夫婦の二人。そんな彼らに悲報が届く。娘がプールで溺れたというのだ。病院に駆けつけた二人を待っていたのは残酷な現実。そして医師からは思いもよらない選択を迫られる。

著者にとって作家デビュー三十周年記念にあたる作品。愛する人を持つ、すべての人へ。これを読み終わった後、ただただ切なくなりました。

そして、タイトルに秘められた思いも最後に分かります。とても読み応えのある一冊です。

映画…篠原涼子／主演 松竹
書籍…東野圭吾／著 幻冬舎

今年度 映像化された作品

から 図書委員のイチオシを紹介



銀魂

「ギャーギャーギャーギャーやかしいんだよ。発情期ですか コノヤロー」
すべてはこの台詞から始まりました。死んだ目をした、家賃を滞納するちんぴら侍を、あの小栗旬が演じる日が来よう、誰が思っていたでしょう。

眼鏡がトレードマークのドルオタを、あの菅田将暉が演じよう、誰が思っていたでしょう。

破天荒の先を行く、連載十五周年を迎えたジャンプ誌が誇る人気漫画『銀魂』の実写映画が、一作目に続き、二作目も大ヒットしました。

二作目は、原作にもある真選組動乱編を再現したものが主となっています。三浦春馬演じる伊東鴨太郎が真選組内でクーデターを起こし、真選組を崩壊の危機に陥れようとする内容です。

原作と少し設定が違う部分もあるため、原作と映画を照らし合わせながら観るのも面白いと思います。まだまだ魅力を伝えたいのですが、とにかく観て読んで損はない作品です。

映画…小栗旬／主演
ワナー・ブラザーズ
書籍…空知英秋／著
ジャンプコミックス

前西図書館 開館中



図書館内はもちろん、
図書館外でも

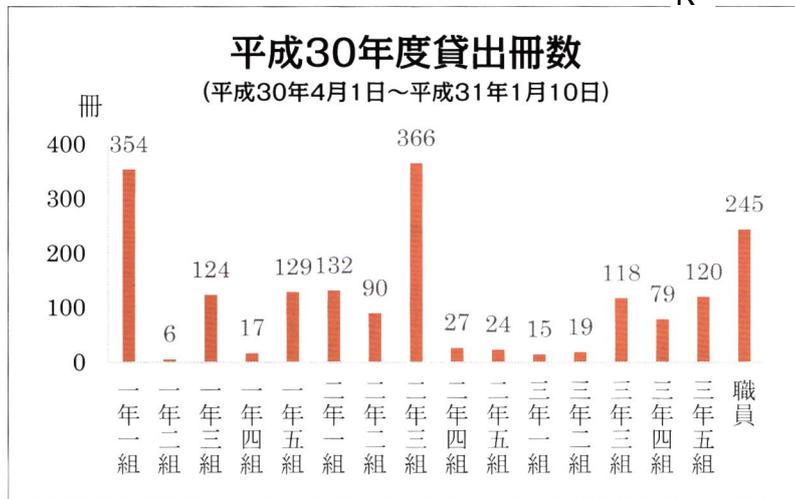


好奇心を刺激するさまざまな
仕掛けをご用意して



みなさまのお越しを
お待ちしております。

K



平成30年度 人気があった本

以下の5タイトルは複数の巻が貸出冊数
ベスト10に入っています。
(複数同順位あり)

『オーバーロード』
丸山くがね／著 (KADOKAWA)

『転生したらスライムだった件』
伏瀬／著 (GCノベルズ)

『ノーゲーム・ノーライフ』
榎宮祐／著 (MF文庫)

『はたらく細胞』
清水茜／著 (モーニングKC)

『聲の形』
大今良時／著 (講談社コミックス)

《一年を振り返って》

◇今年度は自分達が出した案をたくさん実施できたことがとてもうれしかったです。

委員長 K

◇色々なイベントを実施したり、さまざまな活動を通してとても充実した楽しい一年になりました。

副委員長 K

◇たくさん図書委員会の企画などとしてきて、総務として、図書委員として、仕事はよく出来たと思います。

書記 T

◇かなりの頻度で活動があり大変でしたが、がんばりました。

会計 N